

8月25日の台風15号における大山ダムの洪水時の放流について (大山ダム管理初めての洪水調節を行いました)

◆8月24日の大雨により、ダム上流の流域平均雨量は157mmを記録し、ダムへの流入量は、最大毎秒約102立方メートルに達しました。

◆大山ダムの洪水時の放流(ダム下流河川の増水を緩和させる放流)

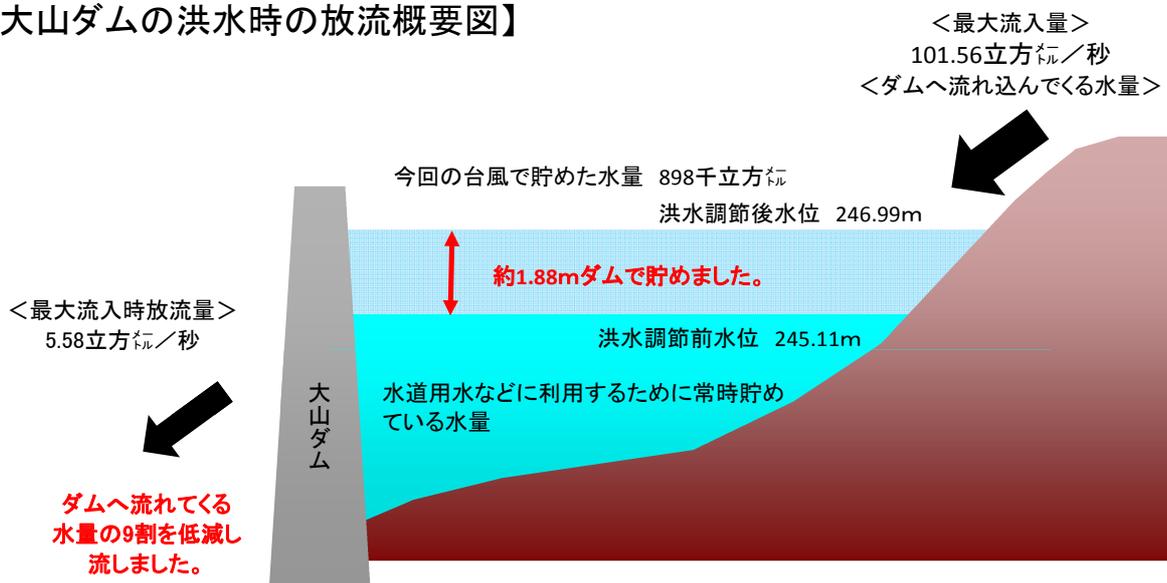
8月25日4時頃より大山ダムへ流れ込んでくる水量の一部を大山ダムに貯めて、ダム下流の河川へ流す水量を最大流入時に約9割低減させました。

◆大山ダムの洪水調節の結果

この洪水調節により、ダム下流の小淵水位観測所において、今回の台風による河川の最高水位を約0.15メートル低減させたと推測されます。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

【大山ダムの洪水時の放流概要図】



【大山ダムの効果】



はん濫危険水位:	4.50m
避難判断水位:	4.00m
はん濫注意水位:	3.00m
水防団待機水位:	2.20m

【小淵水位観測所地点水位比較図】

